

# ネットワーク

～【町民のみなさん】と【町】その繋がりを架け橋します～



議員活動誌 パソコン版も合わせてご覧ください → 検索サイトで「やまさきゆうじ 京丹波町」ご検索ください

日々の議員活動をブログで綴っています ☆訪問者数 42万IP-毎月約1万4700人 175万PV 間近



・SNS (ブログ・face bookに連携など) 発信  
1日3記事以上計5000記事間近  
1日平均4500人ほどの方がアクセス

・毎定例会後ほかに、議員活動誌を発行し、全戸折込・配布。  
通算18号、計93000部発行

・サロン、サークル、ボランティア、町・地域・学校行事への参加1000回超

・毎年全85区計400km×4周＝4年間の歩いて回りでのべ25000軒を訪問

◆4年間の議員活動の柱として掲げてきた3つのこと

議員任期もまもなく終了です。  
4年間の議員活動を振り返っていきます。眺めていただき、評価いただけると幸いです。

1周目 (26年2～10月)、2周目 (27年3～10月)  
3周目 (28年3～10月)、4周目 (29年3～7月)

## □これまでの最大の行政課題

・**丹波マーケスを運営する丹波地域開発(株)への6億700万円補填(ほてん)問題**

(山崎含む計7議員が反対/8議員が賛成で可決/目下、京都地裁で住民訴訟 裁判中)

・**公金横領職員問題 町長の判断による処分軽減(懲戒免職→停職6ヵ月)=退職金が支給**

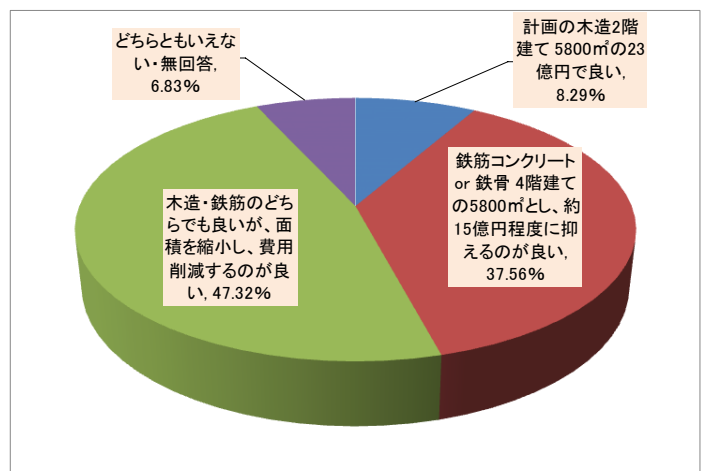
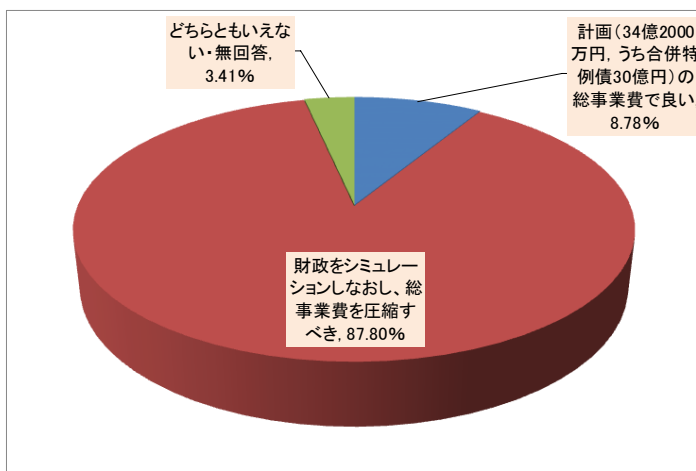
(議員有志による意見交換会の実施/山崎含む計3議員で京都地検に告発)

## ■これからの最大の行政課題

・**新庁舎建設に関しては、財政面から再考し、方式(総合か分庁か)、規模(いまの3.2倍)、**

**構造(木造)の見直し+周辺環境の配慮+図書館、文化ホールとの一体的な整備の検討**

(山崎含む計3議員で3月議会開会中にアンケート実施/5日間で205人が回答)



▼今後の町の行政課題

(全16回行ってきた一般質問、質疑などを通じて指摘してきたこと、4年間の議員活動を通じて必要と感じたこと)

の導入、同手数料補助の創設

・就学前児童0〜5歳児の保育・教育の無償化

・災害への備え、防災・減災対策の強化、災害物資提供協定の締結

・中学校 自転車通学生への損害保険料補助

・生活再建型滞納整理の推進、公平性を重視した債権管理条例の制定

・町立病院と連携した病児・病後児保育の開設

・AEDの屋外設置

・就学援助の対象にメガネ・コンタクトレンズなどの購入補助の追加

・財政白書作成による財政問題の共有

・学童保育環境の整備・改善

・高齢者運転免許返納事業の改善(前年度までの返納者への遡及適用ほか)

・行政視察受け入れの資源化

・高校生 通学利用バスの補助拡充

・丹波メーカーズに限定した買い物支援の見直し

・町長政治倫理条例の策定  
・共に考え、共に行動する共助を育む地域支援課の新設

・非正規公務員の待遇改善(期末・勤勉手当の支給など)

・ごみ収集場所のきめ細かな配置

・丹波・瑞穂・和知各地域の実状に応じた福祉ニーズへの適切な後方支援

・各種要望に公平・公正に対応するための行政としての仕組み構築

・各種計画策定時などの行政コンサル頼みの廃止、職員研修への集中的投資

・認定外道路整備・修繕のための補助率・補助額の引き上げ

・全国の効果的な事例(ICTの導入など)をふまえた有害鳥獣対策の強化

・町民のみなさんの立場での迅速な情報公開・情報発信

・空き家・空き地管理条例の制定による生活環境の向上

・スマホ・パソコンなどによる道路異常通報システム

・企業誘致の推進と雇用の場の創出

・公平性に配慮した債権事務の一元化による収納率向上

・空き家仲介による定住促進、高齢者などが身近に集える憩いの場づくり

・公民館などへの無線LANの設置

・魅力ある京丹波の食材・工藝などを発信し、従事者の所得向上も図る

・寄附額の拡充を目指したふるさと納税の展開

・水道料金 基本料金 使用水量の引き下げ

・太陽光発電施設の設置に関するガイドラインの実効性強化

・学校給食費負担の軽減

・クラウドファンディング

・健康(健幸)ポイント制度の導入

・小学校 1クラス35人↓

30人学級の推進

町民のみなさん 一人ひとりが

幸せを実感できるまちづくり